

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	一般小売店〔酒〕（経営者）	・年末になるため、売行きが良くなることが期待できる。
	◎	都市型ホテル（スタッフ）	・紅葉の観光シーズンに入るため、人の動きが良くなるとみている。
	○	商店街（代表者）	・紅葉シーズンを迎えるため、人の動きが活発になることが見込まれる。
	○	百貨店（催事担当）	・改装オープンが一段落するため、新規顧客層の増加が見込まれる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・紅葉の季節になることに加え、9月に悪天候が続いた反動で人が動くともっている。景気はやや良くなるとみている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・単価が高くなる冬物が売れる時期になる。
	○	乗用車販売店（従業員）	・繁忙期に入り売上が増えるため、景気が良くなるとみている。
	○	乗用車販売店（店長）	・サービス部門を含め、客に依然として節約志向がみられる。しかし、新車、中古車共に1台当たりの販売価格に改善の兆しがある。
	○	その他専門店〔食品〕（経営者）	・総理大臣が変わるため期待している。
	○	一般レストラン（経営者）	・例年のない暑さだったが、少しずつ涼しくなり客足が少し増えている。これから鍋のシーズンに入るため、忙しくなることを期待している。
	○	観光型旅館（スタッフ）	・例年、年末年始の期間は来客数が多くなる。暖冬になれば更に多くなるとみている。
	○	都市型ホテル（支配人）	・秋の行楽シーズンの先行予約は好調で、特にインバウンドが好調である。
	○	旅行代理店（従業員）	・紅葉や雪のコンテンツへの需要に期待している。特に雪は、国内需要が落ち込む時期にインバウンドに対してキラーコンテンツの1つとなる。スキーを始め、温泉や雪山でのアクティビティ需要に注目している。
	○	旅行代理店（従業員）	・当社宿泊契約施設の販売状況は、2～3か月先の受注状況が前月比2%増加となっている。
	○	通信会社（経営者）	・放送サービスは、年末年始キャンペーンを展開しコンテンツも充実するため、新規加入者数の増加が期待できる。インターネットサービスは、競合各社との顧客獲得競争になるが、放送サービスとのセット加入による割引の効果が期待できるため、若干の増加が期待できる。
	○	美容室（経営者）	・賃上げにより冬のボーナス支給額のアップが見込まれ、消費の拡大にも多少は貢献するとみている。
	○	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・衆議院選挙と新首相が気になるころだが、好調のまま推移するとみている。
	□	商店街（代表者）	・ハロウィーンや年末商戦のイベントでは来客数が見込めるが、物価高により購買意欲は停滞しており、消費に変化はみられない。
	□	商店街（代表者）	・景況感が悪い。物価の上昇により買い控えが続くとみている。
	□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・10月にも商品の値上げがある。政治が安定し景気の問題に真剣に取り組むリーダーが現れない限り、この状況は変わらない。
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・季節にメリハリがあった方が景気が良くなる業種だが、最近では気温に関係なく客は様々な商品を求めて来店している。調剤も忙しくなっており、この状況がしばらく続くとみている。	
□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・新米が出回り始め米不足は解消されたが、米の価格が前年よりも大幅に上昇し消費者からは戸惑う声を聞く。食生活の基盤となる米の価格高騰の影響で、今後更に消費者の買い控えが進むとみている。	
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・店頭が忙しくなっており、来客数に改善の兆しが見られるものの、このまま好景気になるとは考えにくい。	
□	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・天候の変化や政治の動向が見極められないと、消費者は動けず、購買意欲が湧かない。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔雑貨〕（経営者）	・全国的に災害が多く、暗い雰囲気にも包まれており、景気の良い話は地方には聞こえてこない。この先の気温はやや高めで推移するとみられ、秋物の販売増加の見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経営者）	・食料品に関しては慎重な消費行動が続いているが、衣料雑貨を中心にファッションアイテムのトレンドは顕著に表れており、活性化することを期待している。高額商品の動きは少し落ち着き始めている。
<input type="checkbox"/>	百貨店（従業員）	・冬季の燃料費の負担や物価高による生活防衛意識に変化はなく、インバウンドの影響もないため、好転する要素はほとんどない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・10月には3000品目強の商品や電気料金の値上げが予定されており、消費のマイナス要因となる。最低賃金の改定が行われるため改善することを期待したいが、政治的な要因でしばらくは変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・環境が大きく変わらないため、大きな変化はないとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・最低賃金も引き上げられるため、今よりやや良くなるとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・物価高により生活防衛意識の高い状態が続いているため、販売点数は伸び悩むとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・米の値上げ等で生活防衛意識が強くなるとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・商圏の高齢者比率が高いため生活防衛のスタイルが急激に変わることはない。食料品は気候変動や水害などによる野菜の価格高騰や加工食品の更なる値上げが見込まれているため、限られた所得や生活費を考えると急激に好転することはない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（商品担当）	・今後も商品の値上げがあるため、買上点数の前年割れは続くとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・売上は毎月徐々に下がっており、これ以上の減少は生活に支障を来すため、現状維持を期待したい。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・最低賃金の引上げはあるが、景気が大きく変わることはないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・来客数は変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・年末に向けて予約販売商品を含め売上は伸長するが、来客数の微増は変わらない見込みである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・最低賃金の引上げにより人件費負担が増えるのは厳しいが、客の購買意欲が高まることを期待したい。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・物価高騰で客単価は上がっているが、来客数が減っているため、売上は前年と余り変わらない。この状況は続くとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・台風の被害が県内の一部地域に限られていたため、米や野菜の生産量に影響を及ぼすほどではなく、今後の買物に期待している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・厳しい残暑など天候要因により衣替えの時期に影響が出ている。衣料品業界では、仕事用のスーツやジャケットなどの買換え需要が発生しないと厳しい。この秋は厳しくなるとみている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・出張やイベント用途などの需要は安定して推移するとみているが、ふだん着需要については先が読めない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・客の様子をみても、景気が上向きになるとは考えにくい。10月からの最低賃金引上げによる若干の所得増がどう影響するかは不透明である。時給従業員の賃上げが月給社員に影響を及ぼすのは来春と予想され、期待はできない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・インフレも落ち着いてきているが明るさはない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（従業員）	・毎月、原材料価格の高騰による商品値上げの連絡が来るため、景気が良くなるとは考えられない。大きなイベントや催しがないため、気温次第で状況は変わるとみている。冬らしい寒い気温になって、冬物商材の販売数量が増えることを期待している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・販売台数は法人客は変わらないが個人客は伸びていない。この状況は変わらないとみている。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・年末は決算期でもあり、例年販売台数は伸びる傾向にある。しかし、販売車種にばらつきがあるため、在庫管理次第では売上に繋がらないケースもあり得る。依然として供給が制限されている車種もあり、発注台数とメーカーの生産状況次第である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・メーカーからの配車量は増加しているが、極端に増加しているわけではないため、現状維持とみている。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・2～3か月先の分まで、今月と同程度の販売量の受注が確定している。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（インテリアコーディネーター）	・景気が良くなる要素が見当たらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（経営者）	・秋冬商材に期待したいが、ここ数年防寒着もなかなか売れないため望みは薄い。冬場の外仕事が減少していることに加え、防寒着の需要も重量防寒着から軽量防寒着に移っており、金額も上がらない。また、競合他社が新しい商材を出すとそちらに流れてしまうことも多く、非常に厳しい状況である。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	・各種商品の値上げに加えて、冬になると灯油などの光熱費の負担が増えるため、財布のひもは固くなるとみている。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・長期予報は平年並みとなっており、特に気温の変化がなければ、販売量は変わらず景気も変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・フード業種のテナントの一部から10月に商品を値上げするという申入れがある。物価上昇が続くため、消費者の節約志向は継続するとみている。一方で特別感や限定感のある商品への反応はあるため、積極的に企画発信することを考えている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（経営者）	・パーティーや団体のイベントの予約が徐々に増えている。これまでの停滞感が解消していくとみている。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（スタッフ）	・良くなる兆しはみられない。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・次期総理大臣次第である。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（スタッフ）	・ハラスメントを気にして忘年会の開催を見送る企業が多い。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・今後も物価高騰が続くなどのマイナス要因があり、余り期待はできない。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・販売量は前年を超えているが、新型コロナウイルス感染症発生前までは戻っていない。個人旅行は物価高騰で手控え感もある。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（従業員）	・年末に向けて旅行シーズンになるが、天候リスクがあり楽観視はできない。エネルギー価格の高騰や為替リスクが落ち着いたとしても、新たなリスクが発生する可能性があり、先が見えない。
<input type="checkbox"/>	タクシー運転手	・この先、忘年会シーズンや気温の低下、風雪などがあり、タクシー利用客は増えるとみている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・景気が好転するような材料に乏しいため、現状維持とみている。
<input type="checkbox"/>	通信会社（営業担当）	・当面景気は変わらないとみている。新内閣の施策で上向くことを期待している。
<input type="checkbox"/>	テーマパーク（職員）	・来客数、販売量共に行き詰まっている。計画どおりの集客ができて買上率が低下傾向にある。買い控えが続いている。
<input type="checkbox"/>	観光名所（職員）	・7月末の豪雨の影響が続いている。営業努力により団体客の予約が確保できているため大幅な落ち込みは避けられるとみているが、振り客がどの程度回復するかは不透明である。景気が良くなるとはいえない。
<input type="checkbox"/>	遊園地（経営者）	・イベント等で集客を図るが、物価上昇の家計への影響が心配される。
<input type="checkbox"/>	美容室（経営者）	・客の財布のひもが固いため変わらない。
<input type="checkbox"/>	その他サービス〔寮管理〕（管理人）	・政策により経済活動が活発になることを期待しているが、この先2～3か月は変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（経営者）	・戸建て住宅の受注は苦戦しているが、近県も含めた賃貸マンションの受注で計画予定金額をカバーしている。

	□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は気温の低下に伴い暖房器具の買換えの問合せが増えるかとみている。リフォームは節約志向により、緊急以外の工事を先送りする傾向は続くかとみている。
	▲	商店街（代表者）	・物価高が消費者心理を冷え込ませている。
	▲	百貨店（企画担当）	・同業他社の改装により、化粧品などの同じブランドの出店が相次ぎ、買上客数の減少が続いている。
	▲	スーパー（店長）	・前年は各種販売促進策を強化した結果、売上は大きく伸長したが、今年は同様の販売促進策を予定していないため、伸長は見込めない。
	▲	スーパー（企画担当）	・新米が出たが予想以上に高値となったため、ほとんど売れていない。10月以降、米に関連した商品が全て値上げになるため、販売点数が減少するとみている。
	▲	スーパー（業務担当）	・この先の商品の値上げや景気不安を懸念して、購買頻度が下がると予想している。
	▲	コンビニ（経営者）	・来客数が減少傾向にあるなか、相次ぐ値上げにより買上点数も減少しており、売上も徐々に落ちている。この状況は続くかとみている。
	▲	コンビニ（経営者）	・経営者同士の会話のなかで、1番の関心は来月からの人件費である。時給を50円上げたとすると1か月で70000円の負担増となるため、厳しくなるのは間違いない。
	▲	コンビニ（エリア担当）	・行楽シーズンだが、天候不順が続くと売上不振につながるとみている。
	▲	衣料品専門店（経営者）	・暖冬により消費が抑制されると予想している。
	▲	衣料品専門店（店長）	・今後の生活不安から消費マインドが年々低下している。また、スーツ離れも加速度的に進んでいる。
	▲	自動車備品販売店（経営者）	・新米の出荷が始まっているが、価格が上がっている。主食の価格が上がることは、他の消費を抑えることにつながる。
	▲	その他専門店〔酒〕（経営者）	・米の価格高騰の影響が悪い方向に大きく作用するとみている。政府や行政の思い切った対策がなければ、一般市場や現場で対応できるレベルではない。
	▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・激変緩和補助金事業の終了とともに販売価格が乱高下する可能性がある。販売量にも影響するとみている。
	▲	高級レストラン（支配人）	・当面、予約受注が鈍化している状況が改善する見込みは薄い。
	▲	一般レストラン（経営者）	・9月の3連休などで出費がかさんだことや衆議院解散総選挙があるため、人出が少なくなると予想している。
	▲	競艇場（職員）	・今月は大口客の来場で売上が上がったが、来月以降は常連客のみとなり通常の売上に戻るとみている。
	▲	設計事務所（経営者）	・官公庁の発注案件数は前年の約7割と低調な状態が続いているなか、民間案件を抱えていない企業によるダンピングも発生しており苦戦している。
	×	商店街（代表者）	・年末にかけて倒産の増加が見込まれる。12月までの予約がほとんど入っていない状況からも、かなり悪化するとみている。
	×	スーパー（経営者）	・最低賃金が10月から引き上げられるが、物価も上昇しており、実質可処分所得は伸びないとみている。
	×	コンビニ（経営者）	・売上は減少し、社会保険の適用拡大、最低賃金の引上げ、光熱費の高騰、除雪代の支払と良くなる要素が全くない。毎年厳しい時期だが今年は更に厳しい。辞めていくオーナーも多いと聞くが、このフランチャイズシステムをいつまで維持できるか先行きに不安しかない。
	×	一般レストラン（経営者）	・各方面から値上げの連絡が届いているが、値上げ幅が予想以上に大きい。客からは急激に変動する為替の影響を会社が受けているという話を聞く。国内外の情勢変化が重なり、当面は景気の活性化は見込めない。
企業 動向 関連 (東北)	◎	—	—
	○	食料品製造業（製造担当）	・需要はあるものの、人員確保の問題に加え、原料や資材等が値上がりしている。人員配置の改善や収益構造の見直しが必要である。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・業種によって差はあるが、全体的に仕事量は増えつつある。このまま状況が良くなることを願っている。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・生産設備の設計に関する引き合いが少しずつ増えてきている。

<input type="radio"/>	建設業（従業員）	・年内は堅調な受注が続く見込みがある。
<input type="radio"/>	金融業（広報担当）	・地場の老舗の閉店が続く一方、県外からの大型スーパー等の進出が目立つ。住宅需要は新築低迷の反動で引き続き中古物件やリフォームの需要が大きい。一次産品収穫のピークを迎えるが、生育状況は順調で品質も良く、高値での取引が期待される。
<input type="radio"/>	広告代理店（経営者）	・従来とは違う形での広告投下ニーズにより対応領域が広がれば、ビジネス拡大につながるのではないかと予想している。
<input type="radio"/>	その他非製造業〔飲食品卸売業〕（経営者）	・県内は観光シーズンに入り、交流人口や会食機会が増加することで、外食産業は好調に推移するとみている。
<input type="checkbox"/>	農林水産業（従業者）	・天候は安定するとみており、台風被害などがなければ堅調な販売が見込める。
<input type="checkbox"/>	食料品製造業（営業担当）	・新商品投入や販売促進企画などを行っているが、既存商品の販売量減少分をカバーできていない。販売不振が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・物価の上昇により、節約志向は続くとみている。
<input type="checkbox"/>	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・地方の中小企業は厳しい状況にあることに加え、業種柄、ペーパーレス化や環境問題に直面している。デジタル化や少子高齢化など地方の経済環境が変わらなければ何の進展もみられない。
<input type="checkbox"/>	金属製品製造業（経営者）	・この先3か月ほどは横ばいとみている。しかし、その先は減速の兆しがあるため警戒が必要である。
<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（企画担当）	・半導体の需要は取引先の状況から改善する見込みを感じるが、開発難易度が高くなるに伴い利益率が下がる可能性があり、実際にどこまで新規設備に投資するのかが不透明である。
<input type="checkbox"/>	電気機械器具製造業（営業担当）	・当面は投資回収時期が続くことから、新規発注や追加発注は見込めない。
<input type="checkbox"/>	輸送用機械器具製造業（経営者）	・客先からの情報では今後2～3か月の間に改善する見込みは少なく、状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・受注見込みの案件があるものの、来年にずれ込む可能性がある。
<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・人手不足や資材高騰が解消していないため、今の状況から変わらない。
<input type="checkbox"/>	建設業（従業員）	・建設業界では少なくとも今後3年は好景気が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	輸送業（経営者）	・前年より増収になっているが支出も増えているため、利益は増えていない。10月から様々な品目の値上げがあり、節約志向が更に高まることが予想される。消費の伸びに期待できる状況にない。
<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・先行きの不透明感はあるが、顧客に積極的に働きかけていく。
<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・物価高騰に伴い設備に掛ける費用を抑える企業が増えているため、通信設備などの受注は厳しい状況が続く見込みである。
<input type="checkbox"/>	通信業（営業担当）	・客からの引き合い件数はそれほど多くない。この状況は変わらないとみている。
<input type="checkbox"/>	広告業協会（役員）	・物価高がまだ続いており、消費意欲が減退しているため、大胆な販売促進策を打ち出せない状況が続くとみている。経済環境の不安定さから、広告業界の景気が上向き道筋がみえない。
<input type="checkbox"/>	経営コンサルタント	・政権政党新総裁の景気対策に注目したい。
<input type="checkbox"/>	司法書士	・相続登記の依頼が増えている一方、売買による不動産取引は減少傾向にある。
<input type="checkbox"/>	公認会計士	・製造業の部品不足や人手不足等が解消されない限り、厳しい状況が続く。小売業、サービス業、建設業等については好調な状況が続くため、全体の景気はやや良い状態が続くとみている。
<input type="checkbox"/>	その他企業〔企画業〕（経営者）	・主要産業である米の収穫時期を迎え、農家も多少は潤うとみているが、景気が上向きかは不透明である。

	□	その他企業 [協同組合] (職員)	・景気が良くなる材料は見当たらない。原材料等の仕入価格が上昇しているが、販売価格に転嫁できない状況である。見積案件もなかなか成立しない。
	▲	農林水産業 (従業者)	・生産コストの上昇は、今後も解消される見込みがない。
	▲	コピーサービス業 (従業者)	・景気に後退感がみられる。破産企業が増加しており、負の連鎖にならないことを願っている。
	×	窯業・土石製品製造業 (職員)	・公共事業、民間事業共に受注量が減少しており、厳しい状況は続くともみている。
雇用 関連 (東北)	◎	—	—
	○	民間職業紹介機関 (職員)	・食品製造の分野において、今後繁忙期に入る見込みがある。
	□	人材派遣会社 (経営者)	・為替の先行きは不透明であり、円安が続けば飼料や原材料の価格が高騰し、企業の利益を圧迫することが懸念される。しばらくは劇的に改善することも悪化することもないとみている。
	□	人材派遣会社 (社員)	・求人数の推移に大きな変化がないため、変わらないとみている。
	□	人材派遣会社 (社員)	・求人数は横ばいか下降傾向にある。半導体関連など国内製造業に復調がみられれば、今後上向ききっかけになる可能性がある。
	□	人材派遣会社 (社員)	・9月に入り求人数は好転したものの、求職者数は8月が前年比マイナス約30%、9月は同プラスマイナスゼロ%となっている。求人数の増加に対して求職者数の増加が見込めないため、様子見が必要である。
	□	アウトソーシング企業 (経営者)	・受注量は前年並みで推移するとみている。
	□	新聞社 [求人広告] (経営者)	・顧客の声を聞いても、当社の状況を見ても、明るい材料が全く見当たらない。
	□	新聞社 [求人広告] (経営者)	・物価高の影響はこの先も続く。
	□	新聞社 [求人広告] (担当者)	・期待できる明るい材料に乏しく、しばらくは現状と変わらない。
	□	職業安定所 (職員)	・特定の業種では人手不足感が継続しており、求人活動が活発だが、原材料や燃料費の高騰により、休業などの雇用調整を行う企業も増加傾向にある。この状況は続くともみている。
	□	職業安定所 (職員)	・最低賃金の引上げにより人件費などのコストが増加するため、企業の採用意欲が高まらず、求人数が伸びない状況が続くとみられる。
	□	職業安定所 (職員)	・新規求人を持ち直しの動きがある一方で、ゼロゼロ融資の返済等で資金繰りに行き詰まり、廃業や人員削減を余儀なくされる事業所も散見される。
	□	職業安定所 (職員)	・物価高騰などの影響が続くとみている。
	□	学校 [専門学校]	・求人数が増加する要因が見当たらない。
	▲	職業安定所 (職員)	・新規求人数が減少傾向にある。また、今後も会社都合による離職者の発生が予想される。
	×	*	*